

新潟市秋葉区社会福祉協議会

秋葉区社協だより

Vol.49

2025.3.23 発行



支えあい、ともに笑顔でくらすまち



この日は、小須戸の「まちの茶の間 だんだん・嶋岡」の皆さんと一緒にし雛の折り紙を折りました。

金津地区活動紹介

— タクシーを活用した移動支援 —

毎月1回「地域の茶の間のいっぶく」を金津地区コミュニティセンターで開催しています。行きたくても行けない人からも茶の間に来てほしいという思いから、タクシーによる送迎支援を始めました。タクシーには金津地区社会福祉協議会の委員も同乗し、玄関で声かけをする「見守り」も兼ねています。

金津地区では各地域でも茶の間の数が多く立ち上がっておりますし、茶の間の交流もあつたりと、地域の大切な支え合いの土台となっております。

(金津コミュニティ振興協議会 青木会長)

秋葉区社協だよりの 郵送申込みを 受け付けています

より多くの皆さまに情報をお伝えできるよう希望される方には個別に郵送をしています。お近くの方にぜひご案内ください。

お申し込み先：秋葉区社会福祉協議会
TEL0250-24-8376
FAX0250-23-3322



年3回(7月・10月・3月)に発行予定です!

秋葉区社協だよりは、新聞折り込みでお届けするとともに、区役所、コミュニティセンターなどに設置をいただいております。

目の不自由な方を対象に、点字版や音声版(デジター・CD版)も発行しています。

今回の 特集

地域の居場所や住民同士の交流の場として、様々な役割を持っている「地域の茶の間・いきいきサロン」。活動内容も様々で、誰でも参加することができる秋葉区内の茶の間のサロンを紹介いたします。

中も読んでね

特集

地域の茶の間・いきいきサロンの活動～どなたでも参加できます～

「地域の茶の間・いきいきサロン」は地域に暮らす誰もが自由に立ち寄れる、地域交流の場です。参加者の間で顔の見える関係になり、ちょっとした気遣いや助け合いを考えることで、支え合う地域づくりの第一歩につながります。

秋葉区では現在73団体が活動しており、それぞれに魅力のある活動を行っています。今回はその中の一を紹介させていただきます。

金津自治会

ふれあい いきいきサロン白玉

金津自治会のサロン白玉は、住民の声から平成26年11月に立ち上がり、昨年11月に10年を迎えました。サロン白玉では、毎年3月に1年間のスケジュールを立てます。その際は、老人クラブの皆さんも一緒に考えています。内容は面倒なものはありません。みんなで出来ること、やりたいことを計画しています。老人クラブの皆さんにも声をかけたり、住民が顔を合わせ、交流を通した情報交換ができる大切な場となっています。日頃お一人暮らしの方も「ここに来ると地域の皆さんと楽しくお話できると」楽しみにされています。サロン白玉で忘年会を行ったときには、回覧板で町内に案内したところ、多くの方の参加があり、盛大な忘年会になりました。

毎月第1水曜日 9:30～12:00
金津公会堂



また、運営する上でも様々な工夫がされています。サロンでは、自分ができること、得意なことを無理なく活かしながら、参加する皆さんでサロンを開催しています。右のつるし雛の制作も得意な人の飾りや苦手な人も作れる飾りなど工夫がたくさん詰まったつるし雛が完成していました。

そして、サロン白玉には連絡係があり、3班の名簿があります。サロンの当番だったり、サロン前には班のメンバーに連絡したり、声を掛け合って参加する工夫がこの名簿にあります。このような工夫としくみが、皆さんが無理なく楽しく参加していることにつながっています。この日のサロンも笑い声が絶えない賑やかなひと時を過ごされていました。



下興野町

みんなの 広場下興野

毎月第2金曜日 10:00～11:30
※曜日変更の場合有
下興野公会堂



令和6年11月に
オープン

高齢の方も子育て中の親子さんも
気軽に立ち寄りください！

山谷町1丁目

山谷町1丁目 なかよしサロン

毎月第3火曜日
10:00～12:00
山谷町1丁目町内会館



令和4年の秋に
活動再開

ゆるやかな体操やゲームなど和気
あいあいと過ごしています

美善町

美善町 茶の間の会

毎月第2水曜日
10:00～11:00
美善町内会館



今年度春に
スタート！

町内の高齢化が少しずつ進んできた
こともあり、高齢者が顔を合わせて
交流できる茶の間の会を作りました

車場町内会

車場麻雀 愛好会

毎月第 1.3 水曜日-第 2.4 日曜日
13:00～17:00
車場公会堂



健康マージャンは
脳トレにもなります！

高齢者のほか、若い人や
女性も参加していますよ

お茶のみのほか、
介護予防や健康
維持にも取り組ん
でいます

新金沢町

立ち寄り 「しんかな」

毎月第2水曜日
10:00～12:00
新金沢町会館



カーリングやボッチャなど誰でも
楽しめる運動もやっています

満日コミ協

まんまるサロン

毎月第2日曜日
13:30～15:45
旧満日小学校



1月はお抹茶を立てて皆さんと一緒に
お正月を感じています

季節を感じる
活動を取り入
れています

小合コミ協

コミセンサロン



この日はギターを伴奏に歌ったり、
PPK(ペンピンコロリ)サポーターの
皆さんと一緒に体操やレクリエーショ
ンで体を動かしました

サロンがない地
域の方も参加
できるサロンを
開催しました

地域の茶の間・いきいきサロンの役割

顔見知りや

人とのつながりが
できる！

生活に

メリハリがつく！

むりなく

体を動かすことが
できる！

たすけあいや

ささえあいが
広がる！





支え合いのしくみづくり

「支え合いのしくみづくりについて知りたい」と思った時など、いつでもお声がけください。皆様のところへ説明に行きます。

秋葉区では住み慣れた地域で誰もが安心して暮らし続けていくために、生活支援・介護予防などの充実を図るため、身近な地域での支え合いの取り組みを関係機関と連携を行いながら、地域の皆様と推進しています。



1層 秋葉区全域

2025年、いわゆる「団塊の世代」が75歳以上となり、高齢者の5人に1人が認知症になるとされています。認知症を含めた地域課題へ向かい、身近に支え合う地域づくりを考えていくことが必要とされています。

認知症が地域や企業など幅広い場面で開催されています。認知症について正しく理解し、他人事ではないという状況を知り、自分に何ができるのかを考えたいと考えています。

また、社会福祉法人等が地域の課題に対して、地域とつながりを持ち、福祉事業を通して地域を支えたいと考えています。支え合いのしくみづくりを推進するために、地域とつながりを持ち、福祉事業を通して地域を支えたいと考えています。

新津第一・第二圏域

緊急情報キット及び認知症をテーマに、支え合いのしくみづくり構成員（ほかに地域コミュニティ協議会等（専門部））地区社会福祉協議会の方々と地区ごとに話し合い、2月の全体会では各地区の具体的な取り組みのアイデアを共有しました。

1. 緊急キットの活用方法について（緊急情報キットを活用した「地域の見守り」を考える）
-もしもの備えを住民各自が
-緊急情報キットの役割、更新、記入の大切さ等、声かけをすることで住民同士がつながり、見守りにつなげる。
-コミュニティ協議会や自治会、町内会へ広報紙に載せて周知する。
-年に1回総会資料にチラシも入れれば定期的にチラシを町内会回し、全世帯に見てもらうにする。
-地域のサークル、地域の茶の間のいきいきサロン、老人クラブ、敬老祝ひ会等でも説明する。集まらない人の対応をどうするかが課題である。
-10月に自治会長、町内会長へ2回の説明用紙を新装（全対象世帯に手配）を配付する。など

2. 見守りにおける認知症の対応について
-認知症になっても地域に住み続けられる地域づくり。 -認知症の理解を広める。
-認知症サポーター養成講座で理解を深げる。（即日内・自治会、サロン、老人クラブなど）
-認知症であることを地域に伝えることが大事である。
-家族や隣近所、地域全体で認知症の理解を深げる。（家族や地域が本人の趣味や交流を閉ざさない）など

認知症に関する現状も深刻になっています。認知症になっても住み慣れた地域で人とつながりながら、自分らしく暮らしていけることができれば地域づくりです。そのためには私たち一人一人が正しい認知症の理解を持つ、広げることが大切です。ぜひご近所から気にかける、支え合う関係築いていきましょう！

認知症に関する現状も深刻になっています。認知症になっても住み慣れた地域で人とつながりながら、自分らしく暮らしていけることができれば地域づくりです。そのためには私たち一人一人が正しい認知症の理解を持つ、広げることが大切です。ぜひご近所から気にかける、支え合う関係築いていきましょう！

認知症に関する現状も深刻になっています。認知症になっても住み慣れた地域で人とつながりながら、自分らしく暮らしていけることができれば地域づくりです。そのためには私たち一人一人が正しい認知症の理解を持つ、広げることが大切です。ぜひご近所から気にかける、支え合う関係築いていきましょう！

認知症に関する現状も深刻になっています。認知症になっても住み慣れた地域で人とつながりながら、自分らしく暮らしていけることができれば地域づくりです。そのためには私たち一人一人が正しい認知症の理解を持つ、広げることが大切です。ぜひご近所から気にかける、支え合う関係築いていきましょう！

認知症に関する現状も深刻になっています。認知症になっても住み慣れた地域で人とつながりながら、自分らしく暮らしていけることができれば地域づくりです。そのためには私たち一人一人が正しい認知症の理解を持つ、広げることが大切です。ぜひご近所から気にかける、支え合う関係築いていきましょう！

認知症に関する現状も深刻になっています。認知症になっても住み慣れた地域で人とつながりながら、自分らしく暮らしていけることができれば地域づくりです。そのためには私たち一人一人が正しい認知症の理解を持つ、広げることが大切です。ぜひご近所から気にかける、支え合う関係築いていきましょう！

認知症に関する現状も深刻になっています。認知症になっても住み慣れた地域で人とつながりながら、自分らしく暮らしていけることができれば地域づくりです。そのためには私たち一人一人が正しい認知症の理解を持つ、広げることが大切です。ぜひご近所から気にかける、支え合う関係築いていきましょう！

認知症に関する現状も深刻になっています。認知症になっても住み慣れた地域で人とつながりながら、自分らしく暮らしていけることができれば地域づくりです。そのためには私たち一人一人が正しい認知症の理解を持つ、広げることが大切です。ぜひご近所から気にかける、支え合う関係築いていきましょう！

認知症に関する現状も深刻になっています。認知症になっても住み慣れた地域で人とつながりながら、自分らしく暮らしていけることができれば地域づくりです。そのためには私たち一人一人が正しい認知症の理解を持つ、広げることが大切です。ぜひご近所から気にかける、支え合う関係築いていきましょう！

2層 新津第五(中学校)圏域

今年度の取り組み

「ゴミ出しの課題について」

地域のうち地域包括支援センターへ寄せられる相談として、ゴミ出しについての声があがっており、各地域の実情に合わせた検討と取り組みを進めてきました。高齢者や障がい者、ゴミ出しに困っているという声が生委員に届き、身近な町内の中で支援の動きを考えていきたいと相談をいただきました。現在は検討を進めながら支援の取り組み方を話し合っています。趣向自治会では、ゴミ出し相談をきかかとして、地域で支え合いのしくみを考えられない自治会と共に検討しています。また、他の圏域の栗宮自治会や伏田地区では、秋葉区協会のゴミ出し相談があり、自治会長等へ相談されていたこと、住民同士が生活を支援、支え合う、ふれあひ福祉サービスの協会員登録へつながったというケースもあります。

秋葉区も高齢化が進んでおり、ゴミ出しに困るといふ声は今後も増えていくことが予想されます。地域福祉はすくなくかかってくるものではなく、地道な取り組みです。今のうちから支え合う地域づくりを考えていく必要があります。令和7年度支え合いのしくみづくり構成員を含めた地域の皆様とともに取り組みを進めていきます。



2層 小合・金津・小戸戸(中学校)圏域

今年度の取り組み

①「支え合いのしくみづくりの周知について」

②「圏域全体での取り組みにおけるサロン交流について」
地域の中で活発に活動しているサロンについて、活動を続けていく中で、サロンごとの様子を情報も見てきている現状があります。そうした声に基づき、日頃関わりの少ない他地区のサロンを知り、地区を越えた交流を行うことで、現状の課題に対する取り組みの一助となることを目指して、サロン情報交換会を開催しました。参加するための移動に関する課題や地域への関わり方等、それぞれ取り組みや活動している際の想いを共有することで、サロンの情報を交換する機会とすることができました。

今回の情報交換会の意見をもとに、継続したサロン活動つなげていけるよう、支え合いのしくみづくり構成員とともに、課題へ向けた取り組みを検討し、一緒に地域のサロン活動を推進していけるよう取り組んでいます。

また、支え合いのしくみづくりの周知については、支え合いとして地域の居場所などの大切な役割を担っている。地域の茶の間のサロンを活用しているという声もあり、令和7年度は、二つのテーマを一緒に考えながら、支え合いの検討・取り組みを進めていきます。



歳末見守り事業を実施しました



地域の皆様から寄せられた歳末たすけあい募金の配分金で実施しました

対象者：75歳以上の一人暮らしまたは友愛訪問事業を利用している方。または、障がいをお持ちの一人暮らしの方。友愛訪問事業とは：地域のつながり（民生委員児童委員、ボランティア等）の協力をいいたいで、見守りの必要な満75歳以上の一人暮らし世帯等へ1回訪問する活動です

歳末時期の見守り活動の一環として、住民同士の交流が温かい気持ちで新年を迎えたいと希望する方へ見守り訪問を行いました。今年度も見守り（地域のつながり・ふれあい）に重点を置き、地域で連携した見守り活動が広まると取り組みを進めてきました。誰もが地域で安心した生活を送ることができるよう、地域住民の助け合い活動として、見守り活動は大切な取り組みです。地域コミュニティ協議会・地区社会福祉協議会から協力をいただきながら、今年度は39の自治会、地域の皆様よりご協力をいただき実施することができました。（小合・須戸・山の手地区では、継続して地域全域で実施していただきました。）子どもたちも様々な形で協力いただいた地域もあり、地域の中で多くの方が関わった歳末の温かい取り組みとなりました。

説明会・打ち合わせ

各地区、各自治会、町内会等打ち合わせができてきたので話し合い、取り組み方について検討しました。

打ち合わせでは、日頃見守り訪問を行っている民生委員と自治会・町内会役員等で意見交換を行いながら協議、訪問時の声かけや持ち物、対応について協議、確認を行いました。

打ち合わせを通じて、地域での状況や災害時のこと、地域連携を大切となど、多くの意見交換が行われました。



地域の中で連携した見守り活動を通して、自治会・町内会や民生委員等、情報交換や連携が進められた機会となり、地域の中でのつながりやふれあいを深める一助となりました。次年度に向けて地域の中で連携した見守り活動がさらに広がると期待しています。

訪問当日

各訪問先でたくさんの笑顔が見られました。このつながりが日頃の暮らしを支える関係。そして防災へつながります。



子どもたちのお手紙
この事業に対して、対象の方へ訪問を喜んでくださった「自治会・町内会」としての状況や状況を知ることができました。「今後も民生委員との定期的な情報交換の機会を持ちたい」など、つながりや連携が深まりました。

ふり返り

よりよい取り組みとなるよう、今後ふり返りをまとめていきます。

住居の士と交流



住居の士と交流
住居の士と交流
住居の士と交流



住居の士と交流
住居の士と交流
住居の士と交流

令和6年度秋葉区社会福祉協議会 社会福祉功労者表彰

令和6年12月15日(日)に開催しました「秋葉区地域福祉推進フォーラム」にて秋葉区内において民間社会福祉の増進に貢献し、社会福祉事業の進展に寄与された方々にその功績をたたえ、表彰状を贈らせていただきました。

田邊千香子 様 馬場三千代 様 諸橋 憂 様 吉川 和子 様
山田 幸平 様 坂口 悦子 様 佐藤 壽子 様 高橋 知子 様
桑原あつ子 様 繁野 敬子 様 五十嵐良重 様 米田 光夫 様
堀井 香子 様 児玉 典子 様 五十嵐 登楼 様 清水 忠藏 様
塚田美智子 様

◇自治会長・町内会長として6年以上勤務または民生委員児童委員においては6年以上勤務し、特に功労のあった者

自治会長・町内会長	
小林 俊介 様	五十嵐正樹 様
小林 憲昭 様	小野沢 肇 様
荒木 誠一 様	志田 信行 様
加納 幹久 様	田村由紀世 様
野瀬山幸治 様	五十嵐博幸 様
小川 祐市 様	今井 富夫 様
民生委員児童委員	
川崎 裕子 様	池田 京子 様
佐藤 元子 様	佐々木子 様
中村 満 様	平田 憲雄 様
高橋 恒男 様	笠井 久代 様
小玉貴美雄 様	茨木つ子 様
早川 幸男 様	石川 和崇 様
阿部 実穂 様	伊藤 春男 様
岡田 政広 様	田中 雄二 様
相田 茂 様	相田 雄司 様
福田 学 様	磯野 雄司 様
佐々木 昇 様	三澤 栄子 様
石川 和崇 様	木村 陽子 様
伊藤 春男 様	田辺田鶴子 様
田中 武則 様	長谷川ハツ子 様
磯野 雄司 様	和泉愛美 様

◇地域福祉活動を6年以上行い優秀な実績を示し、他の模範となる個人、団体または企業

神田 孝子 様 大山 茂 様 嶋崎ユミ子 様 山田 節 様
吉野真由美 様 島田 俊男 様 渡邊 正孝 様 松岡 忠男 様
水間 宏子 様 (以上、ふれあい福祉サービス協力会員)
湯原寺獅子舞保存会 様
新郷コミュニティ協議会 安心安全部 青色パトロール隊 様
舟戸クラブ 様
おもちゃ病院にいがた秋葉病院 様

◇社会福祉事業(20万円以上の金品を寄付した団体
加茂信用金庫 理事長 袴塚 久 様



令和6年度 秋葉区地域福祉推進フォーラム 開催報告

令和6年12月15日(日)に秋葉区文化会館にて秋葉区地域福祉推進フォーラムを開催しました。当日は会場とオンラインで多くの方よりご参加いただき、誠にありがとうございました。

今年度は「あきはくの支え合いの実践～地域共生社会を目指して～」をテーマに、企業、自治会、社会福祉協議会からそれぞれ取り組み実践と想いを発信、そしてコーディネーターは新潟医療福祉大学 青木先生にお願いしました。

新潟県信用組合 新津支店長 森田様、荻川支店長 岩田様より、金融機関として関わることが多い認知症等の様々な地域課題に企業として向き合い、持続可能な社会の実現に向けた取り組みの発信がありました。変化する社会への対応には、地域のつながりや関係機関との連携が重要であると捉え、また、今後は学生や子どもたちなど、これから社会に入る若い世代へ向けた取り組みにも力を入れていきたいとありました。



新潟県信用組合
新津支店長 森田 雅美 様
荻川支店長 岩田 武 様

舟戸1.2自治会 会長 石井様、書記 新井田様より、顔の見える関係づくりのための班の再編成や、班を中心とした支え合う地域づくりに向けた防災訓練について発信がありました。支え合いの活動を広める第一歩として防災に取り組み、災害図上訓練では住民同士が顔を合わせて話し合い、情報共有や課題を出すことで、自身の地域や人を知ることに繋がりました。



舟戸1.2自治会
会長 石井 勝 様
書記 新井田 さや香 様

秋葉区社会福祉協議会より、秋葉区で取り組まれている防災や見守り訪問などの様々な地域活動の映像を交えた紹介や、支え合い活動の実践について発信しました。地域で取り組まれている多様な支え合いの活動を、他人事ではなく自分事として捉え、自分ができるかを一緒に考えていくことが、地域共生社会の実現への足掛かりとなっていくます。



秋葉区社会福祉協議会
支え合いのしくみづくり推進員
小林 湧

各シブジストの発信があった後、先生からは「地域力とは人と人がつなげる力。子どもや学生、福祉施設や事業者など、地域が一つになって地域課題の解決に向かうことができるのが秋葉区の強みである」とまとめていただきました。



新潟医療福祉大学
教授 青木 茂 様

また、地域へお伺いして地域活動の映像を併せて、支え合いの話をすることも可能ですので、ご希望の際は秋葉区社会福祉協議会へお問い合わせください。

地域福祉懇談会を行いました

～今年度の活動をふりかえりました～

「人がつながり ともに支えあう やさしいまち」を目指し、秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画(地区別計画)を進めています。地域福祉活動計画は、地域住民が主体となって進める福祉の取り組みをまとめたものです。地区ごとに今年度の取り組み状況、課題や評価、次年度に向けての活動のあり方など話し合いました。



各地区懇談会の内容については、秋葉区社会福祉協議会ホームページに掲載いたしますので、ぜひご覧ください。

福祉教育

子ども達に地域では色々な人が一緒に生活しているということの気づきや地域には沢山の取り組みがあることを知ってもらい、自分事としてとらえてもらうことで、優しい気持ちを持つことができるようになることと想いで福祉教育を行っています。そのために当事者、地域、お茶の間、ボランティア、福祉施設職員、などの沢山の皆様からご協力をいただき福祉教育を行うことができました。

実施校 (小学校9校)新津第一・新津第二・新津第三・結・小合東・小合・阿賀・矢代田・金津 (中学校3校)新津第五・新津第二・小須戸

新津第一小学校3年生の学び「幸せ いっぱいとどけ隊」

春から先生方と福祉についての打合せを重ね、テーマ「幸せ いっぱいとどけ隊」に沿ったプログラムを考え、年間を通して取り組んできました。

地域には様々な年齢、個性の人々が住んでいることを知るから始まり、いろいろな話を聞き、体験を通して自分たちに何ができるかを考えるきっかけになる学びを目指しました。



【視覚障がい】

当事者の普段の生活について知り、工夫があれどできることがたくさんあることを知りました。

情報を伝える学びでは、点字や音声訳に挑戦！
自分の名前を点字で打ち、声を録音しました。



地域の方へのあいさつは、困っている人に声をかけるための第一歩になると学びました。

新津第二中学校・支援級の学び

【高齢者体験】

加齢による身体的な変化を体験しました。高齢者の気持ちや少しも理解し寄り添うことは、地域のかかわりを広げるきっかけになると思います。



【職場体験】

学校から電車に乗って新津地域交流センターへ移動。緊張した様子も見られましたが、それぞれペースで封入作業を頑張っていました。施設の見学時にはバリアフリーとユニバーサルデザインについて学び、点字表示や点字ブロックを体験しました。



【まとめ】

将来、支援級の子どもたちが社会に出る際に必要な体験となったと感想をいただき、福祉教育の大切さを改めて感じました。

【サロン】

「三善遊拜の会」の活動やSNSを使った取り組みについて学びました。そこから地域に飛び出してサロンを体験！
「サロンふれあい広場なのはな」では折り紙、「三善遊サロン」では歌を歌い、「田家元気で楽しくすごそう会」では健康予防体操、高齢者にとってサロンの活動がなぜ必要かを考える機会となりました。

お世話になった地域の方々を招待して「幸せいっぱいサロン」を開催しました。
サロンの方々とのふれあいは、笑顔あふれる楽しい時間となりました。



【まとめ】

福祉教育の学びから、地域の世帯をこえたかかわりがうまれました。今後大切にしていきたいと思えました。

3月には社会福祉協議会職員や「幸せいっぱいサロン」にご招待いただき、たくさんのお世話をいただきました。ありがとうございました。

3年生担任 (本田先生・田村先生・伊藤先生)

田村先生：サロンの方々に出会い、子ども達といっしょに笑顔があふれました。たくさん子ども達とふれ合う機会をありがとうございました。

伊藤先生：明確な目標を決めて取り組んだことは、子どもたちにとっても地域のみならずにとっても関わり深い活動にできました。

本多先生：パラティに暮らした体験は子ども達にとっても、私たちが教員にとっても素晴らしい経験でした。子どもたちや地域の方々の笑顔は忘れられません。



その他の秋葉区内の学校で行った福祉の学び(体験・交流)の様子

体験

体験することで当事者の気持ちに寄り添います

アイマスク体験

アイマスクを付けて名前を書きました



体験を通して気持ちをのびやかに気づきました。こちらからは、有難う困っている人には優しく声をかけたいと思います

車いす体験

車いすで段差をのぼったりトイレに行ったりしました



高齢者体験

高齢者体験服を着替えて着て豆をつまんだりして、体の変化を体験しました。



交流

地域の方と交流することで地域の茶の間の雰囲気やサロンの大切さ、自分たちの住んでいる地域の様子がわかります



サロンはとても大切な場所だと分かりました

手話体験

手話を習って耳の不自由な方と会話しました



土地を知る

地域の取り組み、地域の施設の様子を教えてくださいました



施設での様子がよくわかりました。地域の活動にも参加することも福祉だと分かりました。

福祉教育に協力いただいた皆様 (敬称略)

【当事者団体・ボランティア団体】にいがた・直津町・元ノ宮の会、新津点訳社会まごかグループ、音声訳きやの会、手話サークルなつ、手話サークルのひ、茶の間のいきいきサロン、三善遊拜の会、三善遊サロン、サロンふれあい広場なのはな、田家元気で楽しくすごそう会、サロン大広場、なごの会、新折の会、子成しいきいきサロン、菓町サロン、まわりが朝日、いってはいはふあい会館 / 【福祉事業所】ごまの里、藤花、よってけま、あがら、和しゅく、包括ケア日宝町 / 【地域】京川コミュニティ振興協議会 (京川地区社協) / 【学校】学校ボランティア

秋葉区社会福祉協議会では学校だけではなく企業、地域向けの「認知症サポーター養成講座」や「防災講座」などの福祉教育も随時行っています。

ボランティア・市民活動とは

自分のため・誰かのため
お互い様の活動



ボランティア・市民活動とは、自分でやれたこと、できることから始められる身近な活動です。ボランティア・市民活動は地域や社会をよりよくしていくことに役立つとともに、活動する自分自身も豊かになってくれる力を持っています。感動、喜び、充実感、達成感などが得られる活動そのものが楽しみになることがあります。人への助けを届けることもできます。

ボランティア・市民活動のご相談はボランティア・市民活動センターへ
ボランティアしたいとボランティアがほしいを繋ぐために様々な団体や社会資源と連携してボランティア・市民活動を応援します。是非ご相談ください。

令和6年度秋葉区ボランティア・市民活動センターでは各種講座を開催しました



ボランティア活動保険

ボランティア活動を安心・安全に行っていたため令和7年度ボランティア活動保険の加入受け付けを開始しました。4月1日よりの補償を希望される場合は3月28日までにお手続きをお願いします。

基本プラン	350円	天災・地震補償プラン	500円	※おつりのいらないようにご用意します
-------	------	------------	------	--------------------

賛助会員にご加入いただき、ありがとうございました

企業・団体・個人の皆さまから賛助会員にご加入いただきました。

(令和7年3月現在)
(敬称略・順不同)

- 樋口鉄工建設株式会社
- 株式会社プロデンス
- 新潟植物地方卸売市場株式会社新植
- 車場寿会
- 阿部自動車興業株式会社
- 株式会社越配
- 株式会社越配
- 小川和興眼科
- 株式会社甲田石油店
- 株式会社越配
- 株式会社越配
- 秋葉建設興業株式会社
- 新潟観光開発株式会社
- 株式会社越配
- 新潟県光栄株式会社
- 株式会社越配
- 大和開発興業株式会社
- 新潟県大学
- 株式会社越配
- 越後天然ガス株式会社
- 新潟がやき農業協同組合新津支店
- 株式会社越配
- 株式会社インカフ
- 新潟商工会議所
- 株式会社越配
- 株式会社新潟ワテック
- 大宮建設工業株式会社
- 株式会社越配
- 株式会社一案
- みらいホームヘルスケア新潟
- 株式会社越配
- 株式会社坂電工業
- 有限会社石澤製作所
- 株式会社越配
- 株式会社小川組
- 有限会社五十嵐工業所
- 株式会社越配
- 株式会社新潟自動車学校
- 有限会社カーネットワークオート
- 株式会社越配
- 株式会社文神屋
- 新潟県労働金庫株式会社
- 株式会社越配
- 株式会社徳永製作所
- 有限会社新潟清掃社
- 株式会社越配
- 株式会社工フム新津
- 医療法人社団建進会「印家地区健康を守る会」
- 株式会社越配
- 株式会社川名花店
- 有限会社ケアサプライドリーむ
- 株式会社越配
- 飯柳長生会
- 株式会社越配
- 草水町千歳会
- 株式会社越配
- 南町鶴寿会
- 株式会社越配
- 美幸町長寿会
- 株式会社越配
- 新米町御印鶴鳴会
- 株式会社越配
- 古田町盛会
- 株式会社越配
- 秋葉寿会
- 株式会社越配
- 印家2丁目老社会
- 株式会社越配
- 新金沢町新和会
- 株式会社越配
- 東金沢老友会
- 株式会社越配
- 中田清老会
- 株式会社越配
- 川口平和会
- 株式会社越配
- 森島致友会
- 株式会社越配
- こが町交友会

- 田中 義夫
- 田中 ユリ
- 小川 俊介

● 企業 ● 団体 ● 個人

ふれあい福祉サービス

ふれあい福祉サービスとは

自分らしく豊かに暮らしていくために、住民がともに手を取り合い、家事援助や話し相手などを通して、お互いの生活を支援、支え合う活動です。
住み慣れた地域や家で少しでも長く暮らしたいという気持ちのお手伝いができればと思ってできたサービスです。

利用会員について

利用できる：秋葉区にお住いの方でおおむね65歳以上の方
障がい児、学生、お手伝いが必要な方

活動内容：ゴミ出し、掃除、買い物、調理及び食事の準備、話し相手

利用日時：平日の午前9時～午後5時
(ゴミ出しは午前8時半までに実施)
土日祝日及び12月29日から1月3日はお休み

利用料：1時間につき500円(ゴミ出しは30分250円)
生活保護世帯は半額です



協力会員について

資格等は必要ありません。当サービスにご理解をもって活動していただける方であればなたでも登録できます。月1回や週1回など、空いている時間に短時間でも活動ができます。心配なことが多い初回の活動は職員が同行します。また、活動中の事故に備えて福祉サービス総合補償会に加入します。まずはお気軽に下記説明会へご参加ください。

説明会のご案内

毎月20日に秋葉区社会福祉協議会にて説明会を開催しています。
午前10時から1時間程度、予約は不要です。当日時間までにお越しください。
※20日が祝日にあたる場合は翌日になります。
すぐ登録ではなく、まずは話を聞いてから考えていただいても大丈夫です。

交流会報告

令和6年11月27日(水)協力会員を対象に、交流会及び研修会を行いました。
心がまえの確約や日々の活動での情報交換を行い、協力会員同士の情報共有、交流の場となり、日頃の想いを共有できる機会となりました。「将来自分も利用できるように、サービスを続けていってほしい」という声もいただきました。
今後も安心して協力会員の皆様が活動できるよう努め、地域のふれあいをつなげていきます。



あたたかいご寄付をありがとうございました

秋葉区内の福祉事業・活動に活用させていただきます。
(令和6年9月1日～令和7年2月28日)

寄付者氏名(敬称略)	寄付金額・物品	寄付先
匿名	10,000円	秋葉区社協
匿名	2,000円	秋葉区社協
加茂信用金庫 理事長 杉 隆久 様	250,000円	秋葉区内子ども食堂
さかつかつ整骨院鍼灸院 院長 坂 川 慶 様	米 20kg	秋葉区内子ども食堂 秋葉区内地域の茶の園
	米 10,000円 米 5kg	秋葉区内子ども食堂
渋谷一座 渋谷 知栄子 様	10,000円	秋葉区社協
程島町内会	5,980円	秋葉区社協
新潟県労働金庫	50,000円	秋葉区社協



さかつかつ整骨院鍼灸院 院長 坂川 慶 様(写真左)



加茂信用金庫 理事長 杉 隆久 様(写真左)



新潟県労働金庫 新潟支店長 土橋 哲也 様(写真右)
新潟県労働金庫 推進委員長 羽賀 孝子 様(写真右)

秋葉区社協たよりの郵送申込みを受け付けております。

秋葉区にお住まいの方で新聞未購読者、秋葉区社協たよりが届いていない世帯で郵送を希望される方は、秋葉区社会福祉協議会までお申込みください。

社会福祉法人 新潟市社会福祉協議会 秋葉区社会福祉協議会

新潟市秋葉区新津本町 1-2-39
TEL: 0250-24-8376 (代表) FAX: 0250-23-3322
TEL: 0250-24-8345 (秋葉区ボランティア・民生活動センター)
URL: <http://niigataaahikahu-syakyo.jp/>

秋葉区社会福祉協議会

ホームページも見てね



令和6年度 赤い羽根共同募金実績

令和6年度も赤い羽根共同募金にご協力いただき、誠にありがとうございました。
秋葉区内における募金実績額をご報告いたします。

実績合計 10,389,400円

赤い羽根共同募金 7,010,274円

歳末たすけあい募金 3,379,126円

お寄せいただいた募金は、秋葉区内の地域福祉活動をはじめ、県内の民間福祉施設等への助成や災害支援に活用されます。

運動期間中、お力添えいただきました自治会町内会、学校、企業、各種団体の皆様へ厚く御礼申し上げます。

